



香川県立香川中央高等学校様で 地域のサステナビリティ推進に向け「金融教育授業」を開催します

百十四銀行（頭取 森 匡史）は、香川県立香川中央高等学校（香川県高松市 校長 宮滝 寛己）にて「金融教育授業」を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

「貯蓄」から「投資」への政策が進む中、金融教育については、さらに重要性が高まっています。

この度は、日本生命保険相互会社との「地域サステナビリティ推進に関するパートナーシップ協定」に基づき連携された「投資を学ぼう！（ニッセイアセットマネジメント株式会社提供）」等の教材を使用し、授業を行います。なお、金融や投資を身近に感じてもらうため、同校卒業生である当行行員が、講師をつとめます。

当行は、今後も「お客さま・地域社会との共存共栄」の実現に向けて、地域社会の持続的な発展に積極的に取り組んでまいります。

記

【金融教育授業の概要】

日 時	2024年12月9日（月）10：00～10：50
場 所	香川県立香川中央高等学校（香川県高松市香川町大野2001）
対 象 者 講 師	対象：高校1年生 41名、教職員 2名 講師：当行行員（香川県立香川中央高等学校 卒業生）
授業内容	○将来、必要なお金を蓄える方法「預金」と「投資」を知る ・預金、債券、株式 ・モノの値段の決め方 ・投資と投機の違い ○株式投資を疑似体験 ・株式の値動きへの理解と、リスクを減らす方法を考える ・リスクコントロール（分散投資・時間分散・長期投資） ・投資信託、積立投資について（NISAなど） ・将来、お金を蓄えるためには様々な選択肢がある ○投資を通じて地域も人々もハッピー ・まとめ

以上

